

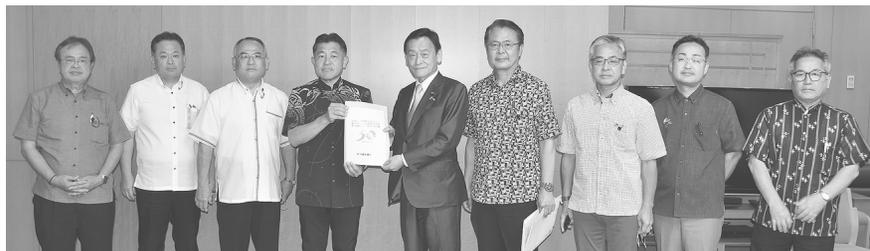
### 宜野湾市長、琉大学長らが要請 琉球大病院移設で財政支援を



琉球大学の西田睦学長と宜野湾市(沖縄県)の松川正則市長らが5月30日、文部科学省を訪れ、池田文科副大臣に末松大臣あての「西普天間住宅地区における跡地利用の推進」に関する要請書を手渡した。

同跡地については、宜野湾市による土地画整理事業の認可を受け、都市基盤整備が進められていると、2024年度末までの琉球大学医学部及び琉球大病院の移設を核とする「沖縄健康医療拠点整備」のため

の病院工事が進められている。一方、2021年初めより急激な資材等の高騰が進んでいることに加え、ウクライナ危機や円安の進行により、先行きは不透明な状況。このため、西田学長らは要請書で国の積極的な財政支援を訴えている。要請書ではこのほか、周辺地域と連携した開発整備が重要であることから、隣接するインダストリアル・コリド1地区の南側部分と一体的な土地利用が可能となるよう、同南側部分を早期に返還するよう求めている。



沖繩県議団一行が6月2日、末松文部科学大臣に対して、沖繩県が平和創造の拠点として教育・文化・芸術・学術・国際交流や人材育成などの各分野で国際社会における役割を果たすために必要となる各種の支援の要望を行った。一行は衆参議院両議長、岸田首相をはじめ関係閣僚に要望を行った。

県議団は、5月15日に本土復帰50年を迎えたのを機に、東アジアの中心に位置する地理的優位性を最大限に生かし、沖縄県の自立と自主性が尊重された総合的かつ大胆で持続可能な振興発展と、真に豊かな沖繩経済を構築するため、米軍基地の跡地活用を視野に入れた経済振興、より安心安全で強靱な観光産業の確立、海洋立国としての我が



超党派の議員連盟が提言  
共同養育総合的対策パッケージ

超党派の「共同養育支援議員連盟」(会長 柴山昌彦衆議院議員・元文部科学大臣)は6月2日、田中文部科学副大臣と面会し、「提言・配偶者により子供を連れさられた方のための共同養育総合対策パッケージ」を提出した。

これは、夫婦が離れて暮らすことになった場合であっても、親子交流や各種学校行事などが子供の成育を見守るための機会を確保することが重要であるとして、「親子交流等の円滑化」を訴えている。このため、安全確保を前提に離婚届受付の際の親子交流等の情報を得られる仕組み、DV当事者双方が接しない親子交流・支援の推進、支援団体の利用負担軽減を提言している。

この日、議連の柴山会長(元文科大臣)と、三谷英弘事務局長(衆議院議員、元文科大臣政務官)が田中副大臣と面談した。

### 教育・文化・芸術・学術や人材育成 沖繩県議団が末松大臣に要望

沖繩県議団一行が6月2日、末松文部科学大臣に対して、沖繩県が平和創造の拠点として教育・文化・芸術・学術・国際交流や人材育成などの各分野で国際社会における役割を果たすために必要となる各種の支援の要望を行った。一行は衆参議院両議長、岸田首相をはじめ関係閣僚に要望を行った。

国の発展に寄与する新たな産業の創出に向けて取り組むよう要請した。

とらののもん往来



○：鰐淵文部科学大臣政務官 国立大  
学振興議連の総会で挨拶し  
た。(2頁に関連記事)  
「大学が持てる知的・人的  
資源を最大限活用し、社会

からの期待と要請に応えることができるよう、運営費交付金や施設整備費など必要な予算の獲得に向けて、日々全力を尽くして取り組んでいるところだ。本日の総会でいただくご意見をしっかりと受けとめて、今後、各大学との意見交換、また要望を聞きながら、大学がその役割を果たせるよう、今後、概算要求等を行ってまいります。『闘う文科省』として頑張っていきたいと思います。で、引き続きのご支援をお願いいたします。』



○：下間文教施設企画・防災部長 「国  
立大学法人等施設整備説明  
会」で挨拶した。『岸田総  
理を議長とする「教育未来  
創造会議」で、地方国立大

学のソフトとハードが一体となった教育研究環境の整備充実を図ることが提言されました。西尾大阪大学総長を主査とする『国立大学法人等の施設整備推進調査協力者会議』が各大学等における共創拠点の実現に向けた今後の推進方策をこの夏に最終報告としてまとめます。皆様には老朽施設の戦略的リノベーションを含めた共創拠点整備への支援について各方面の理解が一層深まるよう継続的取組をお願いします。』



○：古田大学振興課長 公大協議会で、  
大学設置基準等の一部改正  
に向けた検討状況を説明し  
た。『中教審の大学分科会

で審議が始まったばかりで、年内に議論をまとめられたらと思っています。(教育研究活動で)各大学が創意工夫しやすくなるような改正を目指している、『規制強化か?緩和か?』と問われれば緩和の方向です。ただ、すべて自由にするのが良いことかという点、必ずしもそうではありません。大学設置基準はあくまで、最低基準です。そこは維持しつつ、質保証についてはしっかりと確保しながらはなりません。』



○：永田国大協会長 国立大  
学振興議連の総会で、10兆円規模の  
大学基金について考えを述  
べた。『大学ファンドの成

功の可否は、総合振興パッケージ(の恩恵)がどれだけの多寡で、どれだけの大学に行き渡るかによって決まるのだと思います。大学ファンドの支援を受ける大学で育った学生や若手研究者が、ファンドの支援を受ける大学だけにどまっています。我が国の研究力強化の抜本的な改革にはつながりません。多くの大学が高レベルでの研究ができる状況をつくってこそ、大学ファンドの意味がようやくして表れるのだと確信しています。』



○：西田琉球大学長 5月30日に、松川  
宜野湾市長とともに文部科  
学省を訪問し、『西普天間  
住宅地区における跡地利用

の推進』について国の支援を要請した。(9頁に関連記事)『宜野湾市の西普天間住宅地区跡地では、本学医学部及び病院の移転を核とする『沖繩健康医療拠点』整備事業が進められています。この事業は米軍基地跡地利用のモデルケースとして注目されており、今回、岸田総理をはじめ西銘内閣府特命担当大臣、池田文科副大臣から支援に関する心強いお言葉をいただきました。引き続き、沖繩健康医療拠点の形成に向けて尽力します。』



○：銭谷東京国立博物館長 「天皇皇后  
両陛下におかれましては、  
沖繩復帰50周年記念特別展

『琉球』におこしをいただきました。御即位後をはじめの行幸啓でした。『万国津梁の鐘』や『国宝尚家宝物』などアジアの架け橋と呼ばれた琉球の美術工芸品や人々の祈りのご様子をご覧いただき、館員一同大変感激致しました。今秋には東京国立博物館創立150周年記念特別展『国宝東博のすべて』を開催します。会期中当館所蔵の国宝89件すべてをご覧いただくはじめての展覧会です。また150年の歩みと優品の数々もお目にかけます。どうぞご期待下さい。』



○：小野パナソニック教育財団理事長  
このほど実践研究助成金贈  
呈式を開催した。『今年度  
は特別研究指定校が4校、  
一般助成校が72校で計76校

が助成先に決まりました。これまでの助成件数は延べ3347校となっています。採択校はおかれましては、一年間の実践研究推進をお願い致します。今年度は(学校教育の)大きな節目になると考えています。新しい学習指導要領が高校でもスタートし、コロナとともに動き始めたGIGAスクール構想も実を挙げていく段階に入ってきています。財団としてもニーズの変化に対応するよう活動を推進していきます。』



○：永野日本工学会アカデミー顧問(元国  
際統括官) 工学アカデミー  
の政策共創推進委員会委  
員長として、第4回『政治

家と科学者の対話の会』を衆議院議員会館で開催した。(34頁に関連記事)『日本では個々の研究者などが政治家と話すことはあっても、多様な考えを持つ科学者が、技術者が一体となつて政策の選択肢を立法府に提示する社会システムが存在しません。そこになんとか風穴を開けたいと思います。研究活動の活性化のためには頭脳の循環が不可欠です。大学ファンドが大学相互間の人材の流動化を更に悪化させない工夫を考えることを願っています。』